

『インターベンショナル痛みの治療ガイドライン』

正誤表

本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

(2024年7月9日作成, 2024年8月28日更新)

刷	頁	該当箇所	誤	正	更新日
1刷	55	CQ6 解説 4行目	4週間後において有意なVASの低下を認めたが、注射10分後のVASの改善度は有意に <u>ハイドロリリース</u> 群が高かったという報告がある ⁵⁾ 。	4週間後において有意なVASの低下を認めたが、 両群間の比較では 、注射10分後のVASの改善度は有意に リドカイン 群が高かったという報告がある ⁵⁾ 。	2024/8/28
1刷	82	CQ2 解説 2行目	がん転移による <u>上</u> 顎部の難治性疼痛患者にCTガイド下に <u>上</u> 顎神経RFを安全に行い、	がん転移による <u>下</u> 顎部の難治性疼痛患者にCTガイド下に <u>下</u> 顎神経RFを安全に行い、	2024/7/9